

社会貢献

ミネベアは「5つの心得」に掲げている、「地域社会に歓迎されなければならない」「国際社会の発展に貢献しなければならない」という考えに基づき、財団の設立、政府活動への

協力、アマチュアスポーツの支援、環境保護基金の設立など、社会貢献活動を継続的に行っています。

高橋財団を設立

1992年にタイでの事業10周年を祝って、タイのミネベアグループ各社が当初基金として共同で2,000万パーツを寄贈し、ミネベアの創業者である故高橋高見氏の名称を冠した「高橋財団」を設立しました。その後、タイのミネベアグループ各社の20周年を祝って基金総額を6,000万パーツに増額しました。

当財団は、科学技術関連の学科を学んでいる経済的に恵まれない学生に支援をしており、1993年以来、既にタイ国内の各教育機関で学ぶ500人以上の学生に対して奨学金を授与してきています。また、貧困家庭の小学生の心身の健康を確保するため、タイの小学校に対する昼食支援プロジェクトも開始しています。

このほか、タイのミネベアグループは当財団への基金の寄贈とは別に、地元のロップリ県とアユタヤ県の学生に対する奨学金授与制度を実施しています。

地域産業助成プログラムに協力

タイ政府による基礎産業の活性化の協力要請により、タイの製造子会社であるMinebea Thai Ltd.は現地の下請け企業から部品を調達する契約を結びました。これはタイ投資委員会が進めている産業連携促進政策（BUILD）に協力したものです。

アマチュア野球連盟を設立

タイのミネベアグループは、アジア野球連盟及び国際野球連盟の協力を得てタイにおける野球の紹介と普及のため、1992年1月のタイ・アマチュア野球連盟の設立に尽力しました。

上海美蓓亞淀山湖環境保護基金

1996年4月に、中国子会社の上海美蓓亞精密机电有限公司が所在する上海市青浦区にある淀山湖の水質保全とその周辺の環境保全を目的とした「上海美蓓亞淀山湖環境保護基金」を設立しました。環境保護を目的とした基金設立は、中国に進出している企業では初めてとなります。

2001年7月に創業50周年を迎えるのを機に、5月に基金額を1,100万人民币に増額しました。この金利を活動資金とし、これまで工場敷地に面した国道沿いに桜の苗木を寄贈するなど、近隣地域の緑化、個人住宅の簡易トイレの設置などを行っています。

また、2001年5月には上海市の苗木センターで植林を行いました。この苗木は将来、上海市の緑化のために提供されることになっています。

地元へ消防車を贈呈

上海美蓓亞精密机电有限公司は、2004年5月に同社設立10周年を記念して、同社が所在する上海市青浦区の安全防災活動の支援を目的に消防自動車2台を寄贈しました。

スマトラ島沖地震・津波災害に救援金を寄付

ミネベアは、2004年12月26日にインドネシアのスマトラ島沖で発生した大地震と津波で、インド洋沿岸各地では多くの人々が被災しました。

ミネベアは被災された地域の方々に、以下のとおり、救援金の寄付を行いました。

1. インド洋沿岸の被災各地に対して、日本赤十字社を通じて500万円の寄付
2. ミネベアの最大生産拠点であるタイ国に対して、550万パーツ(約1,375万円)の寄付

タイ国への寄付金のうち、50万パーツはミネベア(タイ国)従業員からの寄付によるものです。

2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野への寄付

ミネベアは、スポーツを通じて知的発達障害者の自立と社会参加を促すとともに、国際交流の増進を目指すことを趣旨とした2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会(2005年2月26日～3月5日、長野県で開催)へ500万円を寄付しました。

これは、ミネベアが長野県に本社を置く企業であり、また、当社の企業理念である「地域社会に歓迎されること」、並びに「国際社会の発展に貢献すること」に根ざしたものです。



タイ工場の見学会に集った高橋財団の奨学生たち



バンコク・アジア大会での試合



2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会主催者より送られた感謝状



タクシン・タイ国首相への寄付金の贈与。写真右よりタクシン・タイ国首相、山中ミネベア東南アジア総支配人、プティチャイ ミネベア タイ取締役